







No.	契約名称及び内容	契約担当等の氏名並びにその所属する部署の名称及び所在地	契約締結日	契約の相手方の商号又は名称及び住所	公益法人等(注11)	予定価格	契約金額	落札率	公益法人等との契約の場合は再委託率(%)	定記再委託がある場合は、契約規定の有無	再依頼の要員の数	随意契約理由等(点検前の状況)(注5)					点検前に自ら改善することとした内容(注6)					点検結果					備考			
												随意契約によることとした業務方法書又は会計規程等の根拠条文及び理由	競争性のない随意契約によらざるを得ない事由	競争性のない随意契約によらざるを得ない場合の根拠区分	競争性のある契約への移行予定の有無	競争性のある契約への移行予定年限	競争性のある契約への移行困難な理由	競争性のある契約方式への移行	競争性のある契約方式への移行	競争性のある契約方式への移行	その他見直し	左記の具体的内容(改善点なしの場合その理由)	公益法人等との再委託に関するもの(注10)	契約価格の妥当性に関するもの(注10)	契約監視委員会等からの指摘事項(点検前の改善点に対する評価、指摘がない場合はその理由)	公益法人等との再委託に関するもの(注10)		契約価格の妥当性に関するもの(注10)	指摘事項等に対する具体的取組み	公益法人等との再委託に関するもの(注10)
30	圃場試験補助	契約種 独立行政法人 土木研究所 圃地土木研究所 所長 植松浩 札幌市豊平区平岸1条3丁目1-34	H20.04.21	湧別町農業協同組合 紋別郡湧別町 字錦279番地1		1,396,500	1,396,500	100.0%			-	会計規程第52条第4項第1号	対象作物であるばれいしよ、てんさい、青刈りとうもろこし及び秋まき小麦の栽培に伴う一連の作業補助を行うものである。作物の肥培管理及び防除から収穫までの一連の作業を天候に合わせて適期に行う必要がある。そのため、試験箇所から近傍の者であり、なおかつ地域の気象特性を考慮した試験栽培作物の栽培技術について熟知していることが必要である。湧別資源循環施設の位置する湧別町内で、請け負えることが可能な業者がーであるため。	18	無					提供を行うことが可能な業者がーであるため。(平成22年度完了予定)			随意契約の理由を点検した結果、随意契約によらざるを得ない契約である。ただし、随契理由書をより詳細に記載すること。			随契理由書をより詳細に記載する。			3	

149,439,186

(注1) 対象となる契約は、独立行政法人整理合理化計画(平成19年12月24日閣議決定)で公表を求められている平成20年度における独立行政法人の契約状況で計上しているものとする。  
(注2) 本様式の点検対象となる契約は、「平成20年度における独立行政法人の契約状況について(依頼)」(平成21年4月13日総務省行政管理局発出事務連絡)にて報告を求めた様式5の「競争性のない随意契約の合計」欄に計上されている契約とする。その際、内閣官房、総務省等のHPにて公表されている平成20年の独立行政法人の契約状況と整合性が取れているか確認すること。  
(注3) 単価契約である場合には、(注2)の報告に合わせて契約金額欄に実績総額または予定調達総額を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価を記載する。  
(注4) 競争性のある契約とは、「一般競争契約」「指名競争契約」「企画競争」「公募」のことをいう。  
(注5) 「随意契約理由等(点検前の状況)」欄には、当該契約について、平成21年1月6日行政管理局発出事務連絡で公表を要請した、様式1又は様式2に掲載されている内容を記載する。また、当該事務連絡以前に締結された契約については、前述の内容に則して記載すること。(区分については、別添区分表の番号を記載すること。)  
(注6) 該当する見直し欄(「競争性のある契約方式への移行」、「競争性のある契約へ前倒し」、「その他見直し」)のいずれか1箇所に“○”を記載し、具体的内容を記載すること。  
(注7) 平成21年1月6日行政管理局発出事務連絡で公表を要請した、様式1に掲載している契約について、移行年限を前倒しすることとしたものについて記載。  
(注8) 点検の結果、指摘を受けた場合、当該契約において本来あるべき契約方式を(注4)の分類で記載すること(複数の可能性がある場合、1「一般競争契約」、2「指名競争契約」、3「企画競争」、4「公募」の優先順で1つを記載すること。複数記入不可。)  
(注9) 「見直し区分」欄には、見直し事項等を、1「競争性のある契約に移行すべきもの」、2「競争性のある契約に移行を前倒しすべきもの」、3「その他の見直し」と分類し、その番号を記載すること。(様式1-1)の数値と整合性を取る。  
(注10) 「点検前に自ら改善することとした内容」、「契約監視委員会等からの指摘事項」、「指摘事項等に対する具体的取組み」において、公益法人等との契約における再委託に関する内容及び契約価格の妥当性に関する内容が含まれる場合は、具体的内容を記載した上、「公益法人等との再委託に関するもの」及び「契約価格の妥当性に関するもの」欄にそれぞれ“○”を記載すること。  
(注11) 契約相手が公益法人等の場合は“○”を記載すること。なお、公益法人等とは、独立行政法人会計基準に示される「特定関連会社」、「関連会社」及び「関連公益法人」並びに「関連公益法人以外の公益法人(特例民法法人、(公益、一般)財団法人、(公益、一般)社団法人、社会福祉法人、NPO、技術研究組合等)」をいう。